

くにとろくゆうけいぶんかさい きゅううえだけじゅうたく

国登録有形文化財「旧上田家住宅」

しせきながおかきゅうだいいりないかくつじかいろうあと

史跡長岡宮内裏内郭築地回廊跡の上に位置する旧家です。明治43(1910)年に建築され、旧国鉄時代の新線計画に伴い、昭和17(1942)年に約190m東方から現在の場所に移転しました。

敷地内には移築された建物(主屋、内蔵、外蔵)と移転後に新築された建物(離れ、門、塀)が並びます。

平成28(2016)年、史跡長岡宮跡の買上げの際に、所有者から建物の寄贈を市が受け、その後、平成31年3月に、都市近郊の伝統的な形式を有した農家住宅として格調高く整えられていることから、5つの建物と塀が国の有形文化財に登録されました。

約1200年前の長岡宮跡の史跡(遺構)上に約100年前の有形文化財である旧上田家住宅が存在しています。



▲主屋1 (座敷)



▲主屋1 (座敷)



▲主屋1 (内庭)



▲主屋2 (土間・カマド)



▲離れ (茶室)



▲内蔵 (貸ギャラリー)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

※貸室に関しては貸室利用案内参照  
または直接お問い合わせください。

休館日 月曜日

※休日の場合は開館し、直後の平日を休館

資料整理日(毎月1日)

※土・日・月曜日の場合は次の平日

年末年始(12月28日から1月4日)

特別警報・暴風警報発表等の場合

観覧料金 施設の観覧は無料

貸室料金表		
施設	向日市民等	向日市外
主屋1	1 枠 1,000円	1 枠 1,300円
主屋2	1 枠 500円	1 枠 650円
内蔵(ギャラリー)	1 枠 750円	1 枠 1,000円
離れ(茶室)	1 枠 650円	1 枠 850円
冷暖房費等	詳細はお問い合わせください	

※貸出枠は午前・午後・夜間の3枠

住 所 向日市鶏冠井町東井戸64番地の2

T E L (075)874-1023



史跡 長岡宮跡

国登録 有形文化財

旧上田家住宅



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL.075-931-1111



## 長岡京

桓武天皇の命により、延暦3(784)年に平城京(奈良)から、山背(城)国乙訓郡長岡村に遷された古代の都です。延暦13(794)年に都が平安京へ遷されるまでの10年間、当地一帯(東西4.3、南北5.3キロメートル)が日本の首都でした。地下に眠るこの遺跡を「長岡京跡」といいます。

都は宮域と京域に分かれ、北部中央の宮域は大極殿や朝堂院などの国家の中枢部が集まる「長岡宮跡」です。京域は宮域を取り囲む街のことで、

### 第2次内裏「東宮」

旧上田家住宅と南内裏公園の敷地は長岡宮の第2次内裏「東宮」の位置にあたります。内裏とは、桓武天皇と皇后、仕える人たちが住んでいた施設です。

旧上田家住宅の敷地では、正殿を囲む内郭築地回廊が確認され、南内裏公園では回廊のさらに外側を囲む外郭築地が見つっています。(図2)

実際に遺構を検出した場所は、路面表示(写真1)と立体復原(写真2)で表現しています。



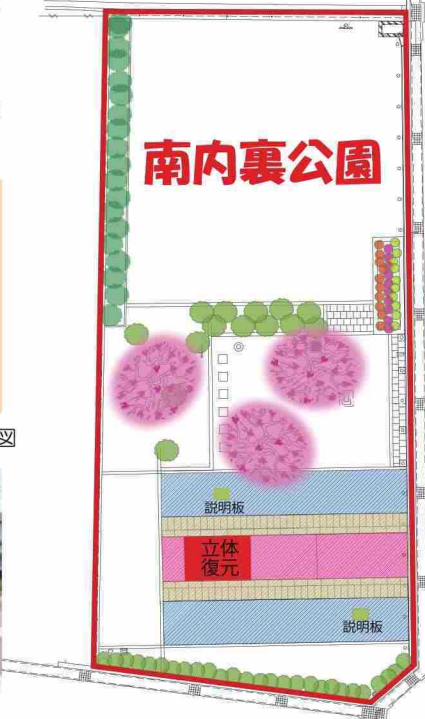
▲図2 外郭築地立体復原イメージ図



▲写真2 外郭築地立体復原



▲写真1 内郭築地回廊路面表示



## 南内裏公園

実際に遺構を検出した場所は、路面表示(写真1)と立体復原(写真2)で表現しています。



## 旧上田家住宅

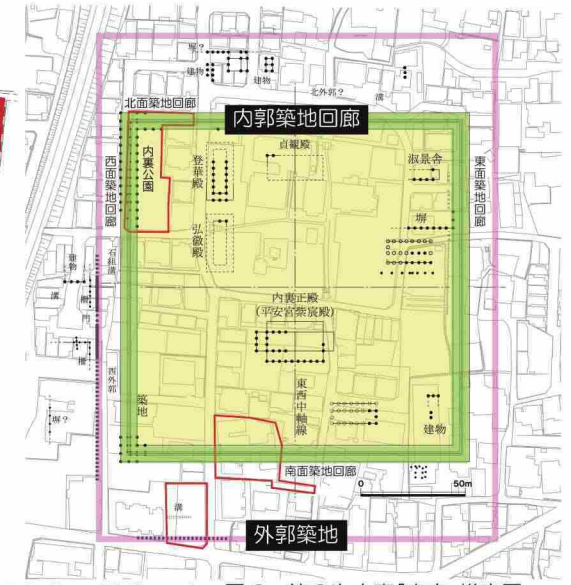


▲図1 旧上田家住宅・南内裏公園平面図

	史跡長岡宮跡 史跡指定範囲
	長岡宮跡 内郭築地回廊 雨落溝
	長岡宮跡 外郭築地 回廊、犬走
	長岡宮跡 内郭築地回廊 築地塀
	長岡宮跡 外郭築地
	国登録有形文化財 旧上田家住宅



▲写真3 外郭築地瓦出土状況



▲図3 第2次内裏「東宮」推定図

発掘調査により、内裏は二重の大壁(外郭築地と内郭築地回廊)を巡らせていることがわかりました。(図3)

### 長岡宮内裏内郭築地回廊

発掘調査で確認した築地回廊は内裏特有のものです。回廊の中央に築地が設けられ、内と外は通路(廊下)になっています。屋根には瓦が葺かれ、荘厳な防御施設だと伺えます。(写真3) 廂柱の基礎は、礎で根固めし、礎石をのせて柱を据え建てたと考えられます。

このような基礎部を築いた後、地覆石・羽目石・葛石を施して基壇(回廊下部構造)が完成します。(図5)

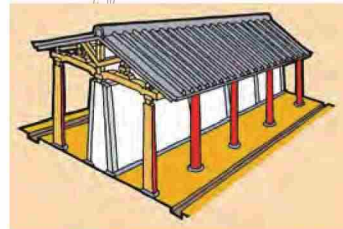
内裏内郭築地回廊は地覆石を据えていた痕跡が見つかったことから、立派な基壇外装であることがわかりました。

確認されている回廊は、「西宮」の掘立柱の複廊、大極殿院の礎石立の回廊、内裏の築地回廊の3か所です。築地回廊は3種類の中で最も格式が高く、長岡宮内では「東宮」のみで確認した遺構です。

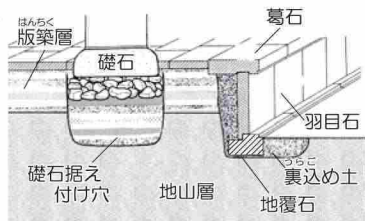
凡例

- 印は発掘調査で見つかった長岡京の柱跡です。

史跡指定地



▲図4 内郭築地回廊復原イメージ図



▲図5 基壇下部構造図